

かわまた

No.149

平成26年5月1日発行
福島県川俣町議会

議会だより

富田幼稚園
入園式



26年度予算可決（3月定例会）	2
皆さんからの請願・陳情	5
議員提案	7
正・副議長のごあいさつ	9
町の課題を問う（一般質問）	10
町民の声	18

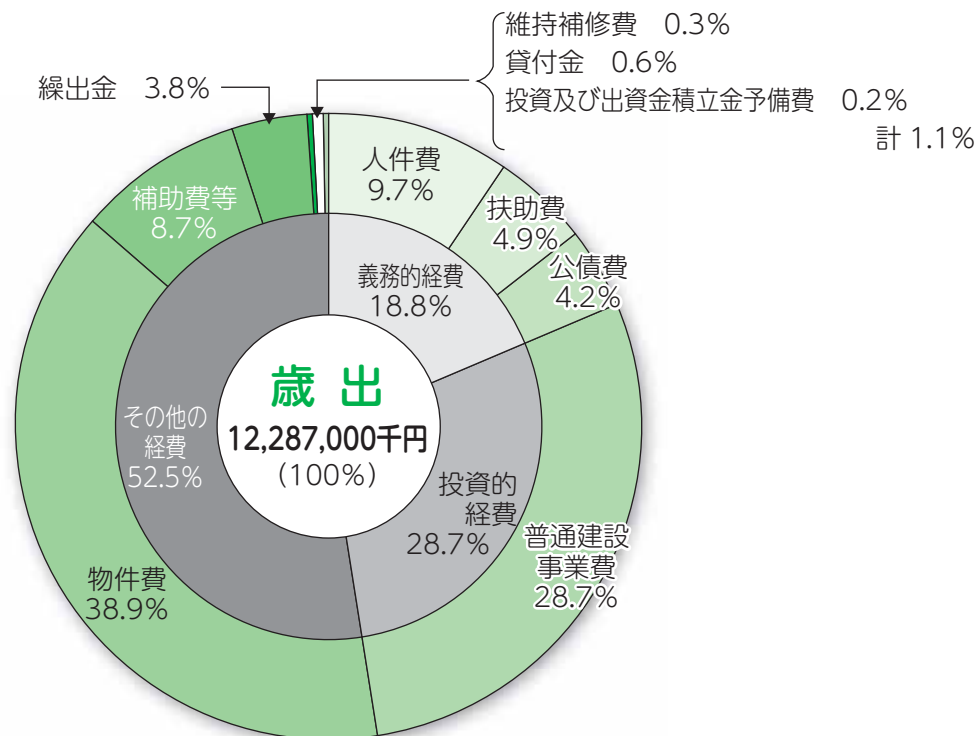
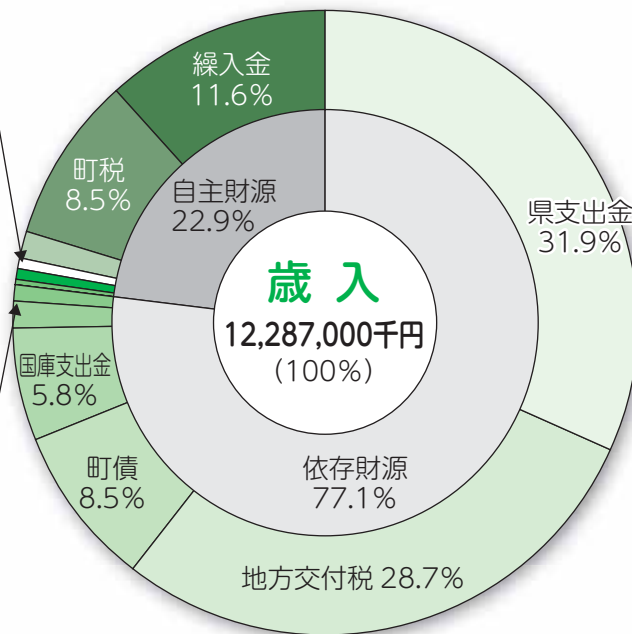
予算を可決!

～一般会計 122億8千700万円～

一般会計予算の構成比

諸収入 1.5%
 使用料及び手数料 0.5%
 分担金負担金 0.5%
 その他の自主財源 0.3%
 ・繰越金
 ・財産収入
 ・寄附金

地方消費税交付金 1.3%
 地方譲与税 0.8%
 その他の依存財源 0.1%
 ・自動車取得税交付金
 ・地方特例交付金
 ・利子割交付金
 ・交通安全対策特別交付金
 ・配当割交付金
 ・株式等譲渡所得割交付金



平成26年第2回議会定例会は3月6日から20日までの会期で開催され、昨年12月定例会以降、議会が開催されなかったために審議できなかった議案の専決処分の報告・承認や、条例の制定及び改正、平成26年度各会計当初予算などについて審議しました。また、当初予算の審査については、平成24年度当

初予算からは特別委員会を設置し審査してきましたが、今回は予算審査特別委員会の運営方法を検証するために、以前のように各常任委員会に付託し審査することになりました。なお、一般質問は8人が登壇し、町政全般について当局の考えを質しました。

26年度当初

当初予算に関する質疑

●一般会計予算

質問

新庁舎の建設については平成24年から取り組んでいるわけだが、議会に対して今まで一度も総事業費は提示されていない。トータルの事業費は一体いくらになるのか。また年度別にはどのようなになっているのか。

(高橋道弘議員)

答

総事業費は28億9194万円になる。年度別では平成25年度が6331万円、26年度が13億9452万円、27年度が14億3410万円となります。(総務課長)

質問

今、商工会の経理が問題になっているが、町ではその後の動向を把握しているのか。また商

工会に対する予算措置はどのようなものか。

(村上源吉議員)

答

その件については現在も調査中であり、詳細についてはまだ明らかにしていない。商工会に対する補助金等については、動向を見極めながら対応していきたい。

(伊藤副町長)

●介護保険特別会計予算

質問

介護保険災害臨時特例交付金が去年と比べて大幅に減額になっているが、その理由は何か。

(高橋道弘議員)

答

全町民が被災者だという認識のもとその1割分を見込み、国に対してはその分の補てんを要望していたが、国との協議の中で補てんは難しいとの結論に達したため大幅な減額になった。

(保健福祉課長)

質問

川俣町のすべての町民が被災者なのは明らかだ。この問題は国がだめだと言ったから簡単に引き下がるような問題ではない。再度検討してもらいたい。

(遠藤宗弘議員)

答

町としても国に対して直接強く要望していたが、現実的に困難であるとの回答であった。要望は引き続き継続していくが、予算としてはこのような形をお願いしたい。

(保健福祉課長)

質問

この件については町の姿勢が問われている。町長から明確な答弁をいただきたい。

(菅野清一議員)

答

予算としては現実的な負担割合もあるので、このような形で組まざるを得ないと考えている。国に対してはこれからも強く要望していく。

(古川町長)

特別会計予算の状況

名 称		予 算 額
国民健康保険特別会計 (事業勘定)		17億5,935万6千円
国民健康保険特別会計 (診療施設勘定)		21万円
介 護 保 険 特 別 会 計		17億7,071万1千円
後期高齢者医療特別会計		1億6,624万9千円
簡易水道事業特別会計		1,006万3千円
奨 学 資 金 特 別 会 計		2,426万3千円
工業団地造成事業特別会計		1,419万2千円
小 島 財 産 区 特 別 会 計		492万1千円
飯 坂 財 産 区 特 別 会 計		819万3千円
大綱木財産区特別会計		14万3千円
小綱木財産区特別会計		117万1千円
山木屋財産区特別会計		15万円
水道事業 会 計	水道事業収益	2億9,312万4千円
	水道事業費用	2億5,248万6千円
	資 本 的 収 入	6,457万4千円
	資 本 的 支 出	1億9,051万1千円

予算の補正

●一般会計補正予算 (6号)

質問.....

この補正予算の補正前の額は、我々議会が提案を受け議決したものと違う。一体どのような経過でこの金額になったのか。(遠藤宗弘議員)

答.....

この補正予算の前に2回、専決処分を行っており、それらを反映した補正前の額になっている。(企画財政課長)

質問.....

除染対策事業費については、スライド制を用いた単価の見直しと消費税率も8%で見ているとのことだが、町が実施しているその他の事業はどうなっているのか。除染対策事業費と同じように扱っているのか。(高橋道弘議員)

答.....

除染対策事業費以外の事業についても消費税については上乗せしているが、物価スライドにつ

いては、確認のうえ、現予算で対応できない部分については今後見直しを行うことになる。

(企画財政課長)

●後期高齢者医療特別会計補正予算 (2号)

質問.....

普通徴収保険料が25%も増えるが、なぜそんなに増えるのか。(高橋道弘議員)

答.....

保険料が大幅に増額になった主な理由は、農地除染により所得が増えたことと、東京電力の賠償により所得が増えたことによるものである。(保健福祉課長)

専決処分の報告・承認

●25年12月13日専決処分一般会計補正予算 (4号)

質問.....

旧繊維工業試験場跡地については、今年度いっぱい土地を地権者に返すことになると思うが、その後どうなったのか。(遠藤宗弘議員)

答.....

現在、地権者の方と協議中であり、土地を整地するための予算を25年度予算で確保していたが、それについては26年度に繰り越していただくようになる。(企画財政課長)

要望

補正予算は緊急に必要なものはず。繰越事業がかなり目につく、今後は安易な繰り越しは控えていただきたい。

(黒沢敏雄議員)

質問.....

新庁舎建設に向けた全体の工程はどうなっているのか。町長は28年4月から供用を開始すると言っているが、本当に間に合うのか。また地質調査は終わったのか。(高橋道弘議員)

答.....

現在、建物の構造や空調、衛生設備、電気設備などの詳細を検討しているところであり、実施設計については12月には完了する予定である。次に用地については、引き続き地権者の方々と交渉を継続し、協力していただくよう努めていきたい。なお、地質調査については終了しているがまだ成果品は受け取っていない。(総務課長)

質問.....

復興まちづくり基本計画策定委託料につ

て補正予算が計上されているが、全体的な説明もされていない中で、この部分だけ認めるといったのか。(菅野清一議員)

答.....

計画策定の工期が26年3月末となっているので、説明不足の点もあったが、まとめ次第説明させていただきます。(企画財政課長)

●26年2月18日専決処分一般会計補正予算 (5号)

質問.....

新庁舎建設事業についてだが、基本設計を落札した業者と随意契約で実施設計を契約している。基本設計と実施設計は全く別だと思いが、何か根拠があるのか。(高橋道弘議員)

答.....

基本設計の内容を的確に実施設計に反映させる必要があること、また、本来、基本設計と実施設計は性質的に一体のものであり、分けることは適当ではないと考える。(総務課長)

条例の制定

●川俣町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する条例

質問.....

川俣町において、この条例に該当する事業者は何事業者あるのか。(高橋道弘議員)

答.....

なでしこ川俣をはじめ、町内では5つの事業者が該当する。(保健福祉課長)

補正予算の主な内容

●除染対策事業費

13億4972万円減額
(理由) 事業の見直し

●災害廃棄物処理処分委託料

3532万9千円減額
(理由) 事業の完了

●農業等災害対策事業補助金

2040万円増額
(理由) 降雪災害対策

●道路除雪作業委託料

5040万円増額
(理由) 当初予算420万円

※専決処分とは

議会が議決すべき事件を議決しないとき等に町長が議会に代わって意思決定を行うこと。

● 3月定例会請願審査結果 ●

受理番号	付託委員会	件名	請願者住所及び氏名	紹介議員氏名	審査結果
25年9	産業建設 常任委員会	身体障害者、高齢者にやさしい町づくりのための歩道改修工事に関する請願書	川俣町大字鶴沢字芦ヶ作31 川俣町身体障がい者福祉会長 高野 佐一 外10名	嶋原 利光 村上 源吉	採択
25年10	産業建設 常任委員会	生活道路の町道認定に関する請願書	川俣町大字小島字当内敷19 藤原 啓 外18名	高橋 道弘 石河 清 新関 善三	採択
26年1	産業建設 常任委員会	砂防ダム建設に関する請願書	川俣町字道場16-1 石川 雅昭 外45名	新関 善三 高橋真一郎	趣旨 採択
26年2	産業建設 常任委員会	柏崎第3区生活道路町道認定及び道路改良整備に関する請願書	川俣町字柏崎89-3 関 勇 外6名	高橋真一郎 五十嵐謙吉	継続 審査

● 3月定例会陳情審査結果 ●

受理番号	付託委員会	件名	陳情者住所及び氏名	審査結果
25年7	産業建設 常任委員会	学校給食への地元農産物の供給並びに利用拡大に係る要望書	福島市北矢野目字原田東1-1 新ふくしま農業協同組合 代表理事組合長 菅野 孝志	趣旨 採択
25年8	産業建設 常任委員会	T P P 交渉に関する要請書	福島市北矢野目字原田東1-1 新ふくしま農業協同組合 代表理事組合長 菅野 孝志	趣旨 採択
25年9	総務文教 常任委員会	小島地区第一仮置場への「川俣地区汚染土壌搬入」について	川俣町大字小島字杉田1 小島中組行政区 区長 鈴木 栄一	採択
25年10	厚生 常任委員会	平成26年度予算編成に係る福島腎臓病患者友の会要望書	福島市荒町2-12 福島腎臓病患者友の会 会長 長谷川 裕	採択
25年11	総務文教 常任委員会	子供の屋内遊び場に関する要望書	川俣町字舘ノ腰10 ハンド トゥ ハンド プロジェクト カワマタ 今泉 君枝	採択
26年1	厚生 常任委員会	要支援者への予防給付を市町村事業とすること等についての意見書提出に関する陳情書	福島市渡利字渡利町9-6 公益社団法人 認知症の人と家族の会 福島県支部 代表世話人 佐藤 和子 福島地区会 代 表 井桁 ユウ	採択
26年2	総務文教 常任委員会	これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書	東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号 日本青年団協議会 会長 立道 斉	採択

3 月 定 例 会 審 議 結 果 (平成26年3月6日～20日)

議 案	件 名	審 議 結 果
第11号	専決処分の報告及びその承認について 専決第7号 川俣町町営住宅管理条例の一部を改正する条例	承認(全会一致)
第12号	専決処分の報告及びその承認について 専決第8号 平成25年度川俣町一般会計補正予算(第4号)	承認(全会一致)
第13号	専決処分の報告及びその承認について 専決第9号 平成25年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	承認(全会一致)
第14号	専決処分の報告及びその承認について 専決第10号 平成25年度川俣町介護保険特別会計補正予算(第3号)	承認(全会一致)
第15号	専決処分の報告及びその承認について 専決第11号 平成25年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	承認(全会一致)
第16号	専決処分の報告及びその承認について 専決第12号 川俣中学校太陽光発電システム等設置工事請負契約の締結について	承認(全会一致)
第17号	専決処分の報告及びその承認について 専決第1号 旧川俣精練解体工事請負契約の締結について	承認(全会一致)
第18号	専決処分の報告及びその承認について 専決第2号 川俣町生活拠点形成交付金基金条例	承認(全会一致)
第19号	専決処分の報告及びその承認について 専決第3号 東京電力福島第一原子力発電所原子力災害に伴う計画的避難区域の設定による被災者に対する平成26年度川俣町町税等の減免の特例に関する条例	承認(全会一致)
第20号	専決処分の報告及びその承認について 専決第4号 平成25年度川俣町一般会計補正予算(第5号)	承認(全会一致)
第21号	川俣町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する条例	可決(全会一致)
第22号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第23号	川俣町行政財産使用料条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第24号	川俣町火葬場条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第25号	川俣町定住・二地域居住体験施設設置条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第26号	川俣町農村環境施設設置条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第27号	川俣町峠の森自然公園設置条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第28号	川俣町公共用財産使用等条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第29号	川俣町都市公園条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第30号	川俣町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第31号	川俣町町営住宅条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第32号	川俣町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第33号	川俣町水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第34号	町道路線の認定及び廃止について	可決(全会一致)
第35号	川俣町公民館使用条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第36号	川俣町合宿所設置条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第37号	川俣町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)

議 案	件 名	審 議 結 果
第38号	川俣町自然体験宿泊施設「おじまふるさと交流館」設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第39号	川俣町美術館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第40号	平成25年度川俣町一般会計補正予算(第6号)	可決(全会一致)
第41号	平成25年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決(全会一致)
第42号	平成25年度川俣町介護保険特別会計補正予算(第4号)	撤回
第43号	平成25年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第44号	平成26年度川俣町一般会計予算	可決(全会一致)
第45号	平成26年度川俣町国民健康保険特別会計予算	可決(全会一致)
第46号	平成26年度川俣町介護保険特別会計予算	可決(全会一致)
第47号	平成26年度川俣町後期高齢者医療特別会計予算	可決(全会一致)
第48号	平成26年度川俣町水道事業会計予算	可決(全会一致)
第49号	平成26年度川俣町簡易水道事業特別会計予算	可決(全会一致)
第50号	平成26年度川俣町奨学資金特別会計予算	可決(全会一致)
第51号	平成26年度川俣町工業団地造成事業特別会計予算	可決(全会一致)
第52号	平成26年度川俣町小島財産区特別会計予算	可決(全会一致)
第53号	平成26年度川俣町飯坂財産区特別会計予算	可決(全会一致)
第54号	平成26年度川俣町大綱木財産区特別会計予算	可決(全会一致)
第55号	平成26年度川俣町小綱木財産区特別会計予算	可決(全会一致)
第56号	平成26年度川俣町山木屋財産区特別会計予算	可決(全会一致)

議 員 提 案

3月定例会における議員提案は4件で、それぞれ関係機関に意見書を送付しました。

砂防関係事業(砂防・地すべり・急傾斜)の推進等に関する意見書

気象庁は、平成26年6月から8月の猛暑・豪雨・少雨などの日本の極端な天候について、「異常気象」とであると位置付けた。年々その激しさを増している豪雨は、秋田県仙北市では6名、東京都大島町では39名に上る死者・行方不明者を出す等甚大な被害をもたらし、土砂災害発生件数も約900件を数えている。

当町には、土砂災害危険渓流・急傾斜地崩壊危険箇所、合せて約300箇所あり、そのうち土砂災害危険区域の指定が94箇所もあり、住民の不安は計り知れないものがある。いつ発生するか、わからない災害から住民の生命、財産等を守るためには、災害予防対策の一層の充実が必要であり、特に土砂災害は人命を一瞬にして奪う悲惨さだけでなく、いったん発生するとその社会的・経済的影響は長年に及ぶため、未然の措置が極めて重要である。

よって、国及び県におかれては、土砂災害対策に万全を期すため、下記の事項について、特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

1. 砂防関係事業(砂防・地すべり・急傾斜)の早急な推進を図ること。
 2. 集中豪雨等の観測体制、予報体制の充実強化を図ること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年3月20日

内閣総理大臣 安倍 晋三 様
国土交通大臣 太田 昭宏 様
福島県知事 佐藤 雄平 様

福島県伊達郡川俣町議会

介護保険制度見直し案に関する意見書

現在国においては、介護保険制度の根幹に関わる見直し案が検討され、今通常国会への提出を予定していると聞き及んでいる。中でも「要支援者を介護保険制度の給付対象からはずし、市町村の支援事業に委ねる」との案は、介護保険制度の理念を壊しかねない制度の変更であり、市町村の財政上、事務上の負担も軽視できないものと考えます。

厚生労働省は、昨年11月14日に開催した社会保障審議会介護保険部会に「予防給付のうち市町村事業に移すのは訪問介護、通所介護のみとし、訪問看護や訪問リハビリなどは予防給付として継続すること」を提案したが、訪問介護と通所介護は予防給付の大部分を占めており、要支援外しの本質は変わっていない。

よって、国においては、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

記

1. 「要支援者を介護保険制度の給付対象から外し、市町村の支援事業に委ねる」ことを取り下げること。
2. 「一定以上の所得がある人の利用料を2割に引き上げる」ことを取り下げること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成26年3月20日

衆議院議長 伊吹 文明 様
参議院議長 山崎 正昭 様
内閣総理大臣 安倍 晋三 様
総務大臣 新藤 義孝 様
厚生労働大臣 田村 憲久 様

福島県伊達郡川俣町議会

TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉に関する意見書

TPP交渉は、昨年末までの妥結を目指して進められてきたが、12月にシンガポールで開催されたTPP閣僚会合では、市場アクセス、知的財産、環境、国有企業などの難航分野で各国の隔たりが埋まらず、年内妥結を断念し、引き続き協議を続けていくこととなった。

安倍総理はじめ政府の主要閣僚および与党幹部は、国会および自民党による決議を守るとの交渉姿勢を堅持しており、両決議は実質的な政府方針となっている。今後とも国益をかけた極めて厳しい交渉が続くと予想されるが、政府はいかなる状況においても、現在の姿勢を断固として貫かなければならない。

他方、交渉が大詰めを迎えた今もなお、交渉内容についての十分な情報は開示されないままである。TPPは、農林水産業のみならず、食の安全、医療、保険、ISD(投資家対国家間の紛争解決条項)など、国民生活に直結する問題であることから、国民に対する情報開示は必要不可欠である。交渉を主導してきた米国でさえも、自らの議会から情報開示を求められており、わが国でも早急に十分な情報を開示すべきである。

以上を踏まえ、政府に対し、TPP交渉において下記の事項を必ず実現するよう、強く要請する。

記

1. TPP交渉において、衆参農林水産委員会決議を必ず実現すること。
 2. TPP交渉に関する国民への情報開示を徹底すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年3月20日

内閣総理大臣 安倍 晋三 様
厚生労働大臣 田村 憲久 様
農林水産大臣 芳正 様
経済産業大臣 茂木 敏充 様
内閣府特命担当大臣 甘利 明 様

福島県伊達郡川俣町議会

夜間透析提供体制の確保に関する意見書

現在、全国の人工透析患者数は約30万人に達し、かつ毎年4万人近くが新規に増加し、福島県の腎臓障がい者数は、平成25年4月1日現在5,706名を数えるにいたっている。

近年、慢性腎臓病(CKD)について厚生労働省は、早期の予防、診断、治療が重要であるとの認識のもと、CKD対策を喫緊の課題と位置付けている。また、現在、透析導入に至る原疾患の第1位は糖尿病となっているが、生活習慣病対策が重点事業として取り組まれる一方、生活習慣の改善によっても発症・進展を防ぐことが出来ない腎疾患に対する病態解明や新規治療方法の開発も、重要課題として位置付けられていることは大いに評価されることである。

しかしながら、透析患者は年々増加傾向にあるとともに、透析医療の進歩による長期透析者の増加などの傾向も顕著となってきた状況において、近年の医師不足は、透析治療にも及んでいる。福島県内の専門医あるいは治療機関は決して十分な水準とは言えず、加えて相次ぐ診療報酬の引き下げ等により、病院設置者、クリニック開設者の透析治療への取り組み意欲は低下する一方である。中でも夜間透析実施は、医師、スタッフの負担が大きく中止する施設が相次いでいる。

人工透析患者は、透析さえ確保できれば就労可能であり、日中のみの透析ではそれが大きく制限され、可能な限り就労し社会活動に貢献するためには、夜間透析実施機関の確保は、欠くことが出来ない重要な課題となっている。

よって、国及び県においては、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

記

1. 夜間透析実施機関確保のため、設置、運営に対する助成制度を措置すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成26年3月20日

衆議院議長 伊吹 文明 様
参議院議長 山崎 正昭 様
内閣総理大臣 安倍 晋三 様
総務大臣 新藤 義孝 様
厚生労働大臣 田村 憲久 様
福島県知事 佐藤 雄平 様

福島県伊達郡川俣町議会

第1回臨時会

招集されても
開催されず

2月14日に平成26年度第1回臨時会を開催することにしていましたが、9名の議員から欠席届が提出され、臨時会は流会となりました。

議員の出席状況

【出席議員】

村上 源吉 7名
高橋 道弘
嶋原 利光
高橋 清一
菅野 善兵衛
高野 善二
佐藤 喜三郎

【欠席議員】

高橋 真一郎 9名
菅野 善三
新関 善彦
菅野 正彦
黒沢 敏雄
五十嵐 謙吉
石河 宗弘
斎藤 博美

第1回臨時会で審議予定であった議案

議案	件名
第1号	専決処分の報告及びその承認について (専決第7号 川俣町営住宅管理条例の一部を改正する条例)
第2号	専決処分の報告及びその承認について (専決第8号 平成25年度川俣町一般会計補正予算(第4号))
第3号	専決処分の報告及びその承認について (専決第9号 平成25年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算(第4号))
第4号	専決処分の報告及びその承認について (専決第10号 平成25年度川俣町介護保険特別会計補正予算(第3号))
第5号	専決処分の報告及びその承認について (専決第11号 平成25年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号))
第6号	専決処分の報告及びその承認について (専決第12号 川俣中学校太陽光発電システム等設置工事請負契約の締結について)
第7号	旧川俣精練解体工事請負契約の締結について
第8号	川俣町生活拠点形成交付金基金条例
第9号	東京電力福島第一原子力発電所原子力災害に伴う計画的避難区域の設定による被災者に対する平成26年度川俣町町税等の減免の特例に関する条例
第10号	平成25年度川俣町一般会計補正予算(第5号)

第3回臨時会

3月28日に第3回臨時会が開催され、さきの3月定例会で提案可決されました旧川俣精練解体工事請負契約について、工期の延長に伴う一部変更、議員発議による議員報酬の削減、正副議長の辞任に伴う選挙、各種議会議員及び委員の選任等を審議し、可決しました。



議長就任の ごあいさつ

黒沢 敏雄

待ちに待った春も足早に過ぎ、初夏のたたずまいの中みなさま方にはご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今回議会正常化のためには、個人の責を問うのではなく、全議員が責を負う形で同意をみたところであります。3月28日の臨時議会において、議

長の辞職に伴い議長に全会一致で指名推選で選んでいただきました。もとより浅学非才の私ではありますが、議員のみなさまをはじめ、町民みなさまのご指導とご協力のもとで日々精進していきたいと思います。歴代議長を手本として、町のため町民各位のため、議会を進

めていきたいと思っています。

震災から三年、除染も一日一日と進んでおりますが早い終結を望むものであります。

これからは、時節柄行楽、スポーツ、農繁期に入りますが、それぞれの立場で体に十分お気を付けてください。私も一生懸命努力することをお誓いしてあいさつといたします。よろしく申し上げます。



副議長就任の ごあいさつ

遠藤 宗弘

3月28日の臨時議会で、全議員の信任をいただき副議長に選出されました。川俣町議会始まって以来の議長不信任ということ

で、議会の混乱が生じました。

この混乱は、佐藤喜三郎前議長が「議会の決議

を認めない」という発言を議会の場で主張したことによるものです。

自分の発言の責任は、議会の代表者として当然、自分が責任を取る以外に道がないことは明らかです。議長の辞任にともない、副議長も辞任すると

辞職したため、正副議長の交代となりました。

3ヶ月続いた議会の混乱を正常化し、民主的運営を進めてきた伝統を取り戻し、川俣町議会は法令を守り、民主主義に則った運営が進められるよう努力する決意ですので、みなさんのご支援をお願いします。

新たな各議会議員及び各種委員

変更のあった役職	氏 名
産業建設常任委員会委員長	石 河 清
産業建設常任委員会副委員長	高 橋 道 弘
議会運営委員会副委員長	高 橋 真一郎
議会運営委員会委員	高 橋 道 弘
川俣町庁舎建設特別委員会副委員長	石 河 清
川俣町庁舎建設特別委員会委員	佐 藤 喜三郎
川俣方部衛生処理組合議会議員	高 橋 道 也
福島地方水道用水供給企業団議会議員	黒 沢 敏 雄

第3回臨時会で審議された主な項目

議 案	件 名
議案第57号	旧川俣精練解体工事請負契約の一部変更について
発議第5号	議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
選挙第1号	議長の選挙について
選挙第2号	副議長の選挙について

議員発議第5号が可決される

12月定例会以来、3ヶ月にわたり議会を開催することができなかった責任を果たすため、議員報酬を平成26年4月分から平成27年11月分まで(任期期間中)10%削減することとしました。